

「2020年度 新型コロナウイルス感染症の治療に従事した臨床工学技士の実態調査」結果の概要
調査・統計委員会

『新型コロナウイルス感染症の治療に従事した臨床工学技士の実態調査アンケート』を2020年10月1日から11月15日の期間で実施したので、その結果を報告致します。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、わずか数か月でパンデミックが宣言される世界的な流行となりました。

日本臨床工学技士会では、厚生労働省、関連学会と協働する新型コロナウイルス対応チームが組織され、人工呼吸器の取り扱いマニュアル、各種人工呼吸器調査報告などの活動をしています。一方、臨床工学技士は、新型コロナウイルス感染症陽性患者に対して人工呼吸器、ECMO等の操作を行い治療に参画しております。

今回、コロナ禍における臨床工学技士の活動を把握し、課題を抽出することを目的として実態調査致しました。

アンケート調査回収数は1,688件と皆様にご協力いただき、貴重な資料を得ることが出来ました。この結果を関係委員会、各都道府県技士会等にフィードバックすることにより、今後の活動の参考にしていただく予定です。

お忙しい業務の中、貴重なお時間を割いていただきありがとうございます。尚、今回の調査結果は(公社)日本臨床工学技士会の活動の貴重な資料として活用させて頂き、事務局にて適正に保管致します。

1.本調査の目的

コロナ禍における臨床工学技士の活動を把握し、課題を抽出し、今後の活動に反映する。

2.調査の範囲及び対象

全国、日本臨床工学技士会 会員の所属施設、1施設1回答を所属長または責任者に回答いただいた。

3.有効回答数

有効回答数:1,688件

4.調査事項

- 1)回答者の基本属性
- 2)新型コロナウイルス感染症の治療環境
- 3)新型コロナウイルス感染症の治療に対する各業務量の変化

5.調査の時期

2020年10月1日から2020年11月15日までの間に行った。

6.調査方法

日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-プリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。

7.寄せられたご意見

・アンケート項目の対象が施設全体なのか臨床工学技士のみなのかわかりにくい。

委員会の検討結果:ご意見ありがとうございました。次回からアンケート設問に説明をいれて対象を明確にいたします。

8.結果の概要

1)回答者の基本属性

・所属する都道府県技士会(有効回答数 1,678)

項目	n数	割合
北海道	48	2.9%
青森	16	1.0%
岩手	34	2.0%
宮城	41	2.4%
秋田	40	2.4%
山形	41	2.4%
福島	15	0.9%
茨城	41	2.4%
栃木	22	1.3%
群馬	23	1.4%
埼玉	39	2.3%
千葉	73	4.4%
東京	91	5.4%
神奈川	54	3.2%
新潟	37	2.2%
富山	27	1.6%
石川	17	1.0%
福井	19	1.1%
山梨	16	1.0%
長野	27	1.6%
岐阜	25	1.5%
静岡	21	1.3%
愛知	68	4.1%
三重	27	1.6%
滋賀	32	1.9%
京都	15	0.9%
大阪	57	3.4%
兵庫	55	3.3%
奈良	12	0.7%
和歌山	13	0.8%
鳥取	25	1.5%
島根	26	1.5%
岡山	82	4.9%
広島	83	4.9%
山口	42	2.5%
徳島	20	1.2%
香川	31	1.8%
愛媛	41	2.4%
高知	15	0.9%
福岡	57	3.4%
佐賀	18	1.1%
長崎	22	1.3%
熊本	55	3.3%
大分	32	1.9%
宮崎	13	0.8%
鹿児島	50	3.0%
沖縄	20	1.2%
合計	1678	100%

2) 新型コロナウイルス感染症の治療環境

・新型コロナウイルス患者(疑い含む)の対策を講じた業務(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
透析業務	1300	28.7%
呼吸治療業務(集中治療領域を除く)	745	16.4%
集中治療業務	410	9.0%
人工心肺業務	159	3.5%
手術(人工心臓、心臓カテーテル、内視鏡を除く)	397	8.8%
心臓カテーテル検査治療	366	8.1%
高気圧酸素治療	69	1.5%
内視鏡業務	262	5.8%
医療機器管理	677	14.9%
なし	92	2.0%
その他	56	1.2%
合計	4533	100%

・新型コロナウイルス感染症に感染、濃厚接触者となり出勤停止となったスタッフの延べ人数(日数×人員)(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
0(該当者なし)	1486	88.0%
1~10	162	9.6%
11~20	18	1.1%
21~30	9	0.5%
31~50	4	0.2%
51以上	9	0.5%
合計	1688	100%

・実際に新型コロナウイルス感染症に感染、濃厚接触者となり出勤停止となったスタッフがいた場合の対応(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
該当者なし	1316	78.0%
勤務調整	344	20.4%
系列病院からの応援	18	1.1%
近隣病院からの応援	1	0.1%
その他	9	0.5%
合計	1688	100%

・休園、休校などにより休暇となったスタッフの延べ人数(日数×人員)(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
0(該当者なし)	1294	76.7%
1~10	361	21.4%
11~20	18	1.1%
21~30	6	0.4%
31~50	4	0.2%
51以上	5	0.3%
合計	1688	100%

・治療の必要度に応じて災害派遣等に準じる形で臨床工学技士の派遣は必要か(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1048	62.1%
いいえ	186	11.0%
わからない	454	26.9%
合計	1688	100%

・新型コロナウイルス感染症に関連した研修会へ参加(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1024	60.7%
いいえ	545	32.3%
参加する予定	119	7.0%
合計	1688	100%

・感染予防対策やPPEの着脱など知識技術の不足(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1301	77.1%
いいえ	291	17.2%
従事なし	96	5.7%
合計	1688	100%

・新型コロナウイルス感染症の治療にあたる臨床工学技士の教育・研修は必要か(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	1603	95.0%
いいえ	45	2.7%
従事なし	40	2.4%
合計	1688	100%

・新型コロナウイルス患者(疑い含む)を所属施設で受け入れはありましたか?(有効回答数 1,688)

項目	n数	割合
はい	920	54.5%
いいえ	768	45.5%
合計	1688	100%

・新型コロナウイルス患者(疑い含む)を所属施設で受け入れた延べ人数を選んでください。(有効回答数 901)

項目	n数	割合
0(該当者なし)	18	2.0%
1~10	395	43.8%
11~20	137	15.2%
21~30	88	9.8%
31~50	74	8.2%
51以上	189	21.0%
合計	901	100%

・新型コロナウイルス感染症に関わるメンタルヘルスケアの体制(有効回答数 903)

項目	n数	割合
はい	461	51.1%
いいえ	442	48.9%
合計	903	100%

・新型コロナウイルス感染症患者に対する業務で特定のスタッフを除外した理由(複数選択可)(有効回答数 880)

項目	n数	割合
していない	492	37.7%
本人が妊婦である	116	8.9%
同居に妊婦がいる	77	5.9%
持病がある(糖尿病、高血圧、その他など)	134	10.3%
新生児、乳児がいる家庭	148	11.3%
高齢者と同居	65	5.0%
非常勤職員	43	3.3%
知識技術が不足	165	12.7%
その他	64	4.9%
合計	1304	100%

9. その他

詳細につきましては、日本臨床工学技士会情報システム「e-プリバド」に速報を掲載しております。また、日本臨床工学技士会会誌に解説版を掲載する予定です。ぜひご確認ください。